

名古屋市立大学病院における物品管理・搬送業務委託落札者決定基準

- ① 評価項目、各評価項目において優劣を判断する基準並びに各評価項目の配点及び付与する点数の基準について
名古屋市立大学病院における物品管理・搬送業務委託落札者決定基準別添のとおり（以下「別添」という。）とする。
- ② 総合評価値の算出方法について
加算方式
 - ・ 価格評価点と技術評価点の配分
1 : 2（別添のとおり）
 - ・ 価格評価点の計算方法
 $\{1 - (\text{入札価格} - \text{調査基準価格}) \div \text{予定価格}\} \times (\text{価格点の配点})$
- ③ 失格となる基準
別添及び実施提案資料等に係る評価点の最低基準点を 100 点（満点の 3 分の 1）と設定し、最低基準点に満たない者を失格とする。
- ④ 落札者の決定方法
 1. 予定価格の範囲内の入札があった者のうち、総合評価値が最も高いものを落札候補者とする。
 2. 総合評価値の最も高いものが 2 者以上あるときは、くじ引きにより落札候補者を決定する。
 3. 評価分野「技術評価」の内容が、仕様書に定める標準案に満たない場合は失格とする。

名古屋市立大学病院における物品管理・搬送業務委託落札者決定基準 別添

分類	大項目 番号	大項目	中項目 番号	中項目	評価内容 項目番号	評価内容	配点	内訳	内訳割合
技術評価	1	業務実績等	1	経営状況	①	過去3年間の財務諸表	20	10	3.33%
			2	業務実績	①	令和2年4月1日以降に400床以上を有する医療機関における物品管理・搬送（SPD）業務または類似業務の委託契約を締結し、誠実に履行した実績を有するか		10	3.33%
	2	実施体制	1	病院との連絡体制	①	病院職員等との連携体制・情報共有体制	60	10	3.33%
			2	業務責任者の能力	①	業務責任者は、医療機関における物品管理・搬送業務の経験を十分に有しているか 具体的な功績はあるか		15	5.00%
			3	人員の適正配置・確保と教育	①	業務を安全かつ円滑に遂行するための適正な人員配置（バックアップ体制含む）及び組織運営計画		15	5.00%
					②	従業員の研修実施計画、マニュアルの作成		5	1.67%
					③	災害時の業務履行体制の整備		10	3.33%
					④	個人情報の管理、コンプライアンス・情報セキュリティ体制		5	1.67%
	3	受託準備体制	1	準備スケジュール	①	履行開始までの具体的なスケジュール	25	10	3.33%
			2	引継ぎ	①	現受託業者からの引継ぎのための方策		5	1.67%
			3	病院職員等との連携	①	関係する病院職員等との事前調整など円滑に業務を開始するための計画		10	3.33%
	4	業務遂行能力 企画提案	1	診療材料等管理業務	①	仕様書の要求事項を効率的、効果的かつ確実に実施するための運営方法	95	15	5.00%
					②	上限金額を越えない範囲で、職員の負担軽減や病院経営改善につながる実現性が高い具体的な提案		10	3.33%
			2	薬剤部倉庫・調剤室 入出庫補助業務	①	仕様書の要求事項を効率的、効果的かつ確実に実施するための運営方法		15	5.00%
					②	上限金額を越えない範囲で、職員の負担軽減や病院経営改善につながる実現性が高い具体的な提案		5	1.67%
			3	中央手術部 物品管理業務	①	仕様書の要求事項を効率的、効果的かつ確実に実施するための運営方法		15	5.00%
					②	上限金額を越えない範囲で、職員の負担軽減や病院経営改善につながる実現性が高い具体的な提案		5	1.67%
			4	搬送業務	①	仕様書の要求事項を効率的、効果的かつ確実に実施するための搬送計画		15	5.00%
					②	上限金額を越えない範囲で、職員の負担軽減や病院経営改善につながる実現性が高い具体的な提案		15	5.00%
	技術評価点							200	66.67%
価格評価	1	入札価格	① 入札価格 $\{ 1 - (\text{入札価格} - \text{調査基準価格}) \div \text{予定価格} \} \times 100$ ただし、入札価格 ≧ 調査基準価格は満点とする。				100	100	33.33%
			価格評価点				100	33.33%	
総合評価点（価格評価＋技術評価）							300	100.00%	

①効果が大きく認められるか、②効果が認められるか、③標準と同程度であるか、④標準以下であるか、⑤全く満たしていないか、の5段階を目安とする。